

高堂社長と富山さん表彰 帯広市まちづくりデザイン賞



優れた都市景観の形成に貢献している帯広市内の建築物を表彰する、今年度の帯広市のまちづくりデザイン賞の表彰式が23日、帯広市役所で開かれた。

今年度は6件の応募があり、市環境デザイン委員会（赤嶺太紀子委員長）が審査。最優秀賞に高堂建設の新社屋（東1南16）、特別賞にsalon齋藤亭（東2南4）が選ばれた。

表彰式では、前田正明副市長が「一つ一つ良い景観の建築物が増えていき、明るく変貌を遂げている。今後、後にも美しい街並みのために力添えを」とあいさつ。

高堂建設の高堂匠美社長とsalon齋藤亭の所有者の富山弘美さんに賞状と記念の盾を手渡した。新社屋を設計・建設した宮坂建設工業にも賞状が贈られた。

高堂社長は「今後も建設業として果たすべき地域の未来づくりに貢献したい」と富山さんは「ヨガや編み物などで集まって使用してもらえている。四季折々の木々が楽しめるのでぜひ眺めてほしい」と喜びを語った。

（川野遼介）

まちづくりデザイン賞表彰式

高堂建設新社屋が最優秀

施工の宮坂建設工業も受賞

帯 広 市

【帯広発】帯広市は25日、市役所で第15回まちづくりデザイン賞の表彰式を挙行了。最優秀賞は、宮坂建設工業(株)(帯広、宮坂寿文社長)が施工した高堂建設

(株)(同、高堂匠美社長)の新社屋。前田正明副市長が高堂社長らに表彰状を手渡し、良好な景観形成への貢献をたたえた。



高堂建設の高堂社長、宮坂建設工業の阿部専務執行役員らに表彰状が手渡された

まちづくりデザイン賞は、優れた景観形成、まちづくりに貢献している建築物を表彰することにより、市民や事業者のまちづくりへの関心を高め、良好な景観形成を促進することが目的。本年度は応募のあった6件から、2件を表彰対象として選出した。

表彰式では、前田副市長が受賞者らに表彰状を授与。高堂建設新社屋に関しては、所有者である高堂社長、設計・施工を担当した宮坂建設工業から阿部浩之専務執行役員と馬場政純執行役員建築設計室長の3人に表彰状を手渡した。

前田副市長は「市内には良い景観の建築物が増え、多くの人を迎え入れるにふさわしいまちとなってきた。これから一層、美しいまちづくりに取り組んでいくので、皆様の力添えをいただきたい」と話した。

帯広市都市環境デザイン委員会による総評では、門成明副委員長が高堂建設新社屋について「白を基調とした清潔感のある外観は、地域住民に潤いと安らぎを与えている。社屋周辺における植栽活動も地域の良好な景観形成を先導していくものと期待できる」と述べた。

高堂社長は「この受賞を機に、今後一層、建設業として地域のまちづくり、地域の未来づくりに貢献できるよう切磋琢磨していく」と語った。

帯広市

高堂建設新社屋に栄誉

まちづくりデザイン賞



賞状を受け取る高堂社長(左)

【帯広】帯広市は25日、市庁舎で第15回まちづくりデザイン賞の表彰式を開いた。最優秀賞に輝いた高堂建設(本社・帯広)新社屋の関係者に賞状を贈り、市内の魅力的な都市景観形成に対する協力に感謝した。

前田正明副市長が、所有者の高堂匠美社長と、設計・施工した宮坂建設工業(本社・帯広)の馬場政純建築設計室長、阿部浩之専務にそれぞれ賞状と盾を授与。このほか特別賞として、古民家を改修した「salon 斎藤亭」を表彰した。

前田副市長は「賞も歴史を重ね、良い景観の建築物が増えて明るく変貌

している。さらに美しいまちづくりへ取り組み組んでいくために力添えを」と呼び掛けた。

受賞者を代表してあいさつした高堂社長は、20日に死去した創業者の父・忠美氏が生前に新社屋建設を喜んでいたことに触れ、「父は表彰に立ち会えなかったが報告したい」と受賞を感謝。「今後も建設業として地域のまちづくりや未来づくりに切磋琢磨(せつさたくま)し、貢献したい」と抱負を述べた。